

セキュリティ管理アプライアンス(SMA)処理キューについて

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[SMA処理キューとは何ですか。](#)

[メッセージ追跡またはレポート処理キューが常に高いのはなぜですか。](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、処理キューとは何か、およびセキュリティ管理アプライアンス(SMA)でのキューの動作について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Eメールセキュリティアプライアンス (ESA)
- セキュリティ管理アプライアンス(SMA)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- ソフトウェア12.5.xを実行する仮想セキュリティ管理アプライアンス

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

セキュリティ管理アプライアンス(SMA)は、Eメールセキュリティアプライアンス(ESA)およびWebセキュリティアプライアンス(WSA)からのサービスを一元化するために使用されます。

集中型サービスは次のとおりです。

- 外部スパム検疫
- 一元化されたポリシー、ウイルス、アウトブレイク隔離
- 一元化されたレポート
- 集中追跡
- Webセキュリティアプライアンスの集中構成管理

SMA処理キューとは何ですか。

処理キューは、SMAによる処理を待機する集中型のレポートファイルおよびトラッキングファイルを格納するバッファです。通常、SMAは処理するレポートおよびトラッキングファイルのバッチを受信します。処理キュー内のレポートファイルまたはトラッキングファイルの割合は、通常、ファイルが管理アプライアンスから送信され、SMAによって処理されるため、変動します。

注:Processing Queueのパーセンテージは、キュー内のファイルの数を示します。ファイルサイズは考慮されません。このパーセンテージは、SMAの処理負荷の概算のみを示します。

メッセージ追跡またはレポート処理キューが常に高いのはなぜですか。

処理キューの使用率が数時間または数日にわたって一貫して高い状態を維持している場合は、システムがキャパシティを超えて動作していることを示しています。

その場合、SMAからの一部の管理対象アプライアンスの削除、追加SMAのインストール、またはその両方を検討してください。

トラブルシューティング

集中型サービスのディスク使用率を確認します。

[Management Appliance] > [System Administration] > [Disk Management]に移動します

トラッキングまたはレポートのディスククォータを超えた場合、利用可能なディスク領域がある限り、ディスク領域を追加できます。

その他のディスククォータを減らし、緊急に必要とするディスクに割り当てることを検討してください。

注：集中型サービスのディスククォータを超えると、SMAは最も古いデータを消去して新しいデータ用の領域を確保します。SMAが管理対象デバイス(ESA/WSA)からTracking/Reportingファイルを高速で受信する場合、これらのファイルを処理キューに配置して、さらに多くのデータを割り当てるための十分なディスク領域が存在するまで解析しません。

関連情報

- [SMA : システムのステータスの監視](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)